

文部科学省選定作品

少年・家庭向き

アヌシー国際アニメーション映画祭

長編部門コンペティション

正式出品作品



春の屋には、たくさんの
出合いが待っていた！

「茄子 アンダルシアの夏」

高坂希太郎 監督作品

若おかみは小学生！

講談社
青い鳥文庫
人気シリーズ
初のアニメ映画化！

文部科学省選定作品(少年・家庭向き)

累計発行部数300万部超の 大人気児童文学シリーズ、 待望のアニメ映画化!

おっこが若おかみとして 大きく成長していく笑いと涙の感動ストーリー



「若おかみは
小学生!」とは?

全20巻、講談社青い鳥文庫の大人気シリーズ。
番外編やスピノフ、人気作同士の
コラボレーション作品も次々と発表されている。

花の湯温泉のお湯は、誰もこぼさない、すべてを受け入れて、いやしてくれる。

小学6年生のおっこ(閑織子)は交通事故で両親を亡くし、おばあちゃんが経営する花の湯温泉の旅館「春の屋」で若おかみ修業をしています。どじでおっちょこちょいのおっこは、ライバル旅館の跡取りで同級生の真月から「あなた若おかみじゃなくて、バカおかみなのか!」とからかわれながらも、旅館に昔から住み着いているユレイのウリ坊や、美陽、子鬼の鈴鬼たちに励まされながら、持ち前の明るさと頑張りで、お客様をもてなしていくのでした。

いろんなお客様と出会い、触れ合っていくにつれ、旅館の仕事の素晴らしさに気づき少しずつ自信をつけていくおっこ。

やがて心も元気になっていきましたが、突然別れの時がおとずれて――。



おっこ

ウリ坊

美陽

鈴鬼

真月

おばあちゃん

明るく元気
いつでも一生懸命

ユレイの男の子
おっこの良き理解者

ユレイの女の子
実は真月の姉

食いしん坊の子鬼
古い鈴に住む

ライバル旅館の娘
あだ名は「ピンぷり」

しっかり者の
春の屋のおかみ